



なきごえ



1995

8



(撮影：中上 正幸)

New Face

- 2 — New Face ジャガーの赤ちゃん誕生 (中上 正幸)
- 3 — 動物と私 犬にさわる (新沢 としひこ)
カバウォッチング セイタカシギ (森本 委利)
- 4 — 北海道の自然と傷病鳥獣の救護活動 (森田 正治)
- 6 — 飼育係 (動物園人) の新しい流れ (大野 尊信)
- 8 — グラフZOO (村上 勇一)
- 10 — ケンちゃんの好きやねん 動物園 (松葉 健)
- 11 — ZOO DIARY

カバウォッチング

セイタカシギ
チドリ目 セイタカシギ科
Himantopus himantopus
「すらっとした長い足に細くとがったクチバシ。見るからにスタイル抜群のこのシギは、過去数年に一度くらいしか飛来しなかった鳥です。しかし1981年ごろから毎年来るようになり、繁殖もするようになっていきます。
(撮影：森本 委利)

||||| 動物と私 |||||

犬にさわる

僕は小さい頃動物が嫌いでした。だから近所のけいこちゃんが「ゴロウ」という秋田犬を飼い始めた時も、ちっとも嬉しくありませんでした。「さわってごらんよ」と言われて弱虫と思われるのも嫌なので、おそるおそる手を伸ばすと、突然キャンキャンと吠えられてビックリし、みんなに笑われて、ますます犬にはさわれなくなりました。

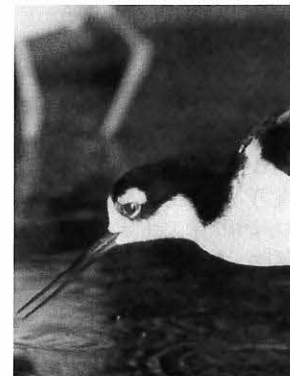
けいこちゃんは時々誇らしげに鎖をほどき家の前の砂利道でゴロウを走らせていました。そんな時僕は家の中でじっとしていました。「ゴロウ」は成長して子どもの手には負えなくなり、大人が散歩させて、あとは庭につながればなしてました。

そのうちに向かいのゆきちゃんも茶色い雑種の「ピリー」を、となりのあいちゃんも雑種のチボを飼い始めました。両方よく吠える嫌な犬でした。何でそんなにみんな犬を飼う?!僕は回覧板を回すのも恐る恐る、散歩に出くわす度にビクビクしていました。何年かたつうちに犬たちはみんな死んでしまい、その度に飼い主たちは泣いて、僕はホッとしていました。そうして犬をさわることなく僕は大人になりました。

3年前の夏、僕は「勇人」という犬に会いました。陶芸家に飼われている普通の茶色い雑種犬で、

← ジャガーの赤ちゃん誕生

今年4月18日、ジャガーの赤ちゃんが1頭生まれました。性別はオスでした。毎日元気に走りまわり、すっかり人気者となっています。6月21日から一般公開しています。



新沢 としひこ さん

(シンガーソングライター、童謡作家)

その家を訪れた時、部屋中を走り回っている勇人に僕は冷や汗が出ました。一緒に行った人がシャボン玉を持ってきていて、僕がそれを部屋の中でちよつと吹いたところ、途端に勇人が飛び出して部屋に散らばったシャボン玉を一つ残らずパクパク食べ出しました。その早業は曲芸のようで、家族は拍手喝采。僕はしばらくシャボン玉を吹き続けました。勇人の姿はいじらしくけなげでした。勇人は家族同然なのだ、とその家の人は言います。そして「今はすねている」「嫉妬している」「甘えている」と勇人の気持ちを通訳してくれました。「言葉が分かっていると思う」と言うのです。言語学的に理解しているわけではなくても、言葉にならない気持ちの行き交いがあるということは僕にもよく分かりました。

僕は勇人にちよつとさわってみました。耳のうしろをかくと、「勇人」はおとなしくさわられるままになっていました。「勇人!」と突然その家の人に呼ばれて、勇人は声のする方へ飛んで行きました。僕は初めて少しさみしい気がしました。

その後僕は勇人にベタベタさわりました。ボールやタオルを投げ、ごはんをあげました。勇人は僕の手をベロベロなめましたが、ちっとも嫌ではありませんでした。

その日から犬にさわるのがちよつと平気になりました。個人に人格があるように、それぞれの犬にも個人の人格(個犬の犬格?)があるということを勇人が教えてくれたのです。それぞれの動物にも個性が個人が人格がある。けものは全部ただけもの、と考えていたからあんなに怖かったのでしょうか。もう死んでしまった「ゴロウ」たちに、ちよつとすまなかつたな、と思ったのです。

(しんざわ としひこ)

北海道の東部のことを“道東”といい、酪農の専業地帯です。そんな“牛の大都会”で、私は、牛のお医者さんをしています。個人開業ではなく、人という“総合病院”の医者といったところでしょうか。勤めている家畜診療所には、9名の獣医師がおり約2万頭の牛を診ています。

“都会”ゆえ、いろいろな病気が発生し、治療だけでなくワクチン接種など予防にも力が注がれています。診療所には手術室、入院室があり、毎日のように開腹手術が行われています。胃や腸の手術、帝王切開など人なみです。血液検査も本部の検査室で行っています。

私がこの地に来たのは26年前でした。滋賀県出身で、北海道にあこがれ、酪農学園大学の獣医学科へ入学しました。動物を好きでも嫌でもなかったのですが、動物学には興味はありました。動物が好きで獣医大学に入る人は多いのですが、卒業後、動物の診療をする人は少数です。また、獣医師の仕事は、注射を打つ、薬を飲ませる、手術をするなど動物が嫌がることばかりで、動物から見れば虐待でしょうか。だから、「動物が好きだから」というだけで「獣医さんになりたい」とは決して思わないでほしいのです。

さて私が野生動物と関わりをもつようになったのは、10年前にマイホームを建てたとき、ファミリー向けのミニ動物園をオープンしてからです。この動物園は予想以上の人気となりました。もっとも入園は無料、年中無休、餌を与えるのも自由という自然体でした。2万人余りの町で1万人位の入園者があったようです。幼稚園、保育所、小学校の遠足や写生会、ときには理科の授業にも利用されました。とくに土、日曜日には家族連れが車を列をなしました。

ミニ動物園をオープンして間もないころ、野鳥が持ち込まれました。持ち込まれた野鳥は、「さっきまで元気になっていた」かと思えば「もう死んでいた」というほど弱いもので



母親が交通事故死したカルガモのヒナを保護

した。当初は、「動物園は、野生動物の治療をするもの」と思っていましたし、おもしろ半分です。スタートした面もありましたが、そのうち野生動物の救護は大変な仕事だということが分りました。その後、これは動物園の仕事ではないことを知り、「道東野生動物保護センター」を発足させ、個人からボランティア団体へと仲間を増やしていきました。維持経費も大変でした。動物は経済動物、愛玩動物そしてや野生動物に分けられ、経済動物、愛玩動物には飼い主がいますが、野生動物にはそれがありません。つまり通りがかりに弱っているところを見つけた心優しい人が病院へ持込んで来たものですので、治療代を請求することができません。最初は自腹を切っていました。最初は助成金や全国から寄付金や賛助会費が寄せられるようになり何とかやれるようになりました。もっと苦労したのは、大学で野生動物の治療を習わなかったことや野生動物に関する知識が余りなかったことでした。そこで動物園の獣医師さんや野鳥の会の仲間に教えてもらうなど少しずつ勉強してきました。

道東地方には、多くの渡鳥がやって来ますし、留鳥もいます。冬鳥としては、オオハクチョウのほかオオワシ、オジロワシ、カモ類などがいます。夏鳥としては、オーストラリアからやって来るといっておオジシギなどがよく繁殖しています。約300種の野鳥を見ることができるといっても、ヒグマ、エゾシカ、キタキツネやトド、アザラシ等の海獣もいます。この10年で300余種の野生鳥獣を見ました。意外と少ないと思われるのですが、これは人口の多い都市部では野鳥などの野生動物を助ける機会が多く、逆に北海道では土地が広いからといった場面には余り出会わないためではないかと思われ。道東では交通事故による重傷例が多く、小鳥ならば保護される前にカラス、トビ、キツネなどの餌になってしまうケースが多いようです。

保護動物ではエゾシカがもっとも多く持込まれます。ほとんどが交通事故によるもので、多くは立てない状態です。個人で持込むことは少なく、大半が役所の車で運ばれて来ます。シカが道路上

で死んでいると30分以内に姿が消えてしまうそうです。何の目的なのか、誰かが持って行くのだそうです。私の経験ですが、交通事故に会いまだ生きていたのでロープで固定して近くの農家に助けを求めている間に、持ち去られたことがあります。死体ならまだしも、生きているのを確認しているだけに「助かっているだろうか」と思うと悲しくなります。

保護される鳥類の3羽に1羽はトビ、ワシ類、フクロウ類などの猛禽類です。不思議なことにトビは秋、エゾフクロウは冬に持込まれることが多いようです。「トビは死んだ振りをする」というと驚かれるでしょう。重傷と思われたトビが保護さ



自然に帰る“ラッキー”(エゾシカ)

保護される鳥類の3羽に1羽はトビ、ワシ類、フクロウ類などの猛禽類です。不思議なことにトビは秋、エゾフクロウは冬に持込まれることが多いようです。「トビは死んだ振りをする」というと驚かれるでしょう。重傷と思われたトビが保護さ



クロガモを自然復帰させる

れたときのことですが、ぐったりしているのを餌を置きそのままにしておいたところ、翌日には餌がなくなっていました。その後、隠れて観察していたところ、パッと飛び起きて食べるではありませんか。人の気配がすると再び倒れました。このことを野鳥の会などに問い合わせましたが、死んだ振りをするのかどうか分かりませんでした。

オオワシでは密猟の犠牲になった2羽を手がけました。警察の話では、オオワシの羽は矢羽に利用されているそうで、その死体は高く取り引きされているとのこと。ほんとうに悲しいことです。オオワシやオジロワシは、北方系のワシで秋に渡って来ます。両翼を広げると約2.5mもあり、鋭い強力なツメで小鳥やネズミ、ノウサギ、魚などを捕らえて餌としています。一般に、動物性の餌を食べる動物は食いだめができますので、保護

されても慌てて餌を与える必要はなく、ダンボール箱などに入れて安静にすることが救護活動の第1歩です。野鳥は人に慣れておらず、飼いやカゴに収容する場合、そのままでは暴れてかえって弱らせてしまいます。この様な時には布か上着をカゴに被せて外が見えなくなるようにしています。

ところで環境庁は「都道府県に一つは鳥獣保護センターを」と指導していますが、残念ながら北海道には鳥獣保護センターがなく、私たちのセンターが唯一の救護専門施設です。各地の動物園、放送大学、そして多くの個人がボランティア活動で救護に活躍していますが、北海道では自然保護行政が遅れているといえましょう。「生物学的には傷病鳥獣は食物連鎖の結果の一つであって、人があえて手を出す(救済する)必要はない」とおっしゃる方がおられるようですが、私たちは人の生活域の広がり犠牲となった傷病鳥獣には手をさしのべる義務があると考え、「小さな野生動物の生命を救うことが大きな自然を守る第1歩になるのでは」をセンターのモットーとしたいのです。



調査のため足環を付ける

さて、夏には全国各地から夏休みを利用して、獣医学生や動物病院の看護婦を目指す専門学校の生徒のほか一般の人でも実習にやって来ます。期間は1週間単位、定員は5~6名で女性の参加が目立ちます。保護している野生動物に、餌を与えてもらい、食欲はあるか、糞の形状はどうかなどを観察して健康をチェックします。必要に応じてレントゲン撮影を行い、手術の補助もしてもらいます。講師としてはセンターのスタッフ、学校の先生が行い、私も“にわか教師”として指導します。ここでは大学や学校では習わないことを教えようという気概もあり、この様なことができるのは全国でもここだけと自負しながら今後も頑張っていくつもりです。

さて、夏には全国各地から夏休みを利用して、獣医学生や動物病院の看護婦を目指す専門学校の生徒のほか一般の人でも実習にやって来ます。期間は1週間単位、定員は5~6名で女性の参加が目立ちます。保護している野生動物に、餌を与えてもらい、食欲はあるか、糞の形状はどうかなどを観察して健康をチェックします。必要に応じてレントゲン撮影を行い、手術の補助もしてもらいます。講師としてはセンターのスタッフ、学校の先生が行い、私も“にわか教師”として指導します。ここでは大学や学校では習わないことを教えようという気概もあり、この様なことができるのは全国でもここだけと自負しながら今後も頑張っていくつもりです。

(もりた まさはる)

飼育係(動物園人)の新しい流れ

私は自分の職業が飼育係だと明らかにしたくない場合があります。それは、決して恥ずかしいか隠したいと思っているからではありません。ただ、「飼育係をしている」と言うと、いわゆるバンビ症候群的な人の、「動物って可愛いでしょう、私も動物が大好きなんです。どんな動物が好きですか?」というような質問には弱ってしまうからです。動物園を好意的にみていることには違いないのですが、「理解されていないなあ」と思わずにはいられません。動物って可愛いだけでは無いのに。

さらに、否応なしに動物の専門家扱われることがあります。もちろん全国にはそれに値する飼育係の人も沢山いると思いますが、私には、とても、動物のことを全て知っているようなことを口にする自信はありません。長年、飼育係をしていながらと批判されそうです。でも、飼育係で分かることには限りがあります。それは、担当したことがある個体のことや、親子関係、形態などについて、動物の社会行動や自然の生態については奥深い全てのことまでを理解し、さらにそれを再現するということまでは無理があります。

これは、以前、ある動物学者が書いていました。動物園の人がよく本を出版するが、はたして



下北半島のニホンカモシカ。サル同様、人間との共存には多くの問題があり、かわいだけでは済まない場合もあります。

本当のことなのか疑問だというものでした。そのときは厳しい批評だと思いました。学問が常に進歩している中で、現在の日本の動物園の状況はまだまだ動物学をバックボーンにすることが薄いように思われ、そのことが問われたのでしょうか。たしかに、飼育下だからこそ観察できる動物の親子のことや、飼育係員の苦労話は興味をひきますが、これをあまりにも強調し必要以上に美化され過ぎると、かえって、飼育係とは限られた飼育環境の中で苦労して動物を飼育し、入園者にその動物を見せる。それだけのものなのかと考えさせられるのです。もちろん、野生の本能を秘めた動物を健康で長く展示を続けていくためには、飼育技術の向上のため日常の研究はかかせません。さらに、これからは、動物の生息環境が悪化しつつあると言われる現在、これらを訴えるためにも動物園と動物園人に新しい流れが要求されているのではないかと思う

のです。では水族館では、どうでしょうか。水族館では動物園で展示しているアシカやペンギンもいますが魚類が主な展示動物です。水族館の飼育担当者と話していると、単にその動物だけでなく、生息環境についても実に豊富な知識を有していることに感心します。この差は一体どこからくるのでしょうか。水族館では展示する動物の確保のため職員が現地へ赴き、採取することがあるようです。自ら川や海へ出かけ、潜ったりしているうちに自然に魚達の生態や自然環境を目の当たりにし、それらを理解していくのだと思われま

す。以前、ある高層ビルの中にある水族館を訪ねたときのことでした。決して大規模な水槽があるわけではあり

ませんでした。手作りの展示方法でしたが、実によく生息環境を表現し素人にも生態が理解でき、環境問題への興味がつながる素晴らしい水族館



昨年の全国飼育の集いのフィナーレ。女性の姿もずいぶん増えました。

でした。これを設計した人はきっと海や自然を本当に知っている人にちがいないとそのとき感じました。その館長さんはけっして若くはない人でしたが、今でも海に潜ると言っておられました。観客がなぜ引き付けられるのか話を聞き、原因がここにあるのだとよく分かりました。水族館の人達はどのように野外へ出ることは日常なことだと聞きます。

一方、動物園ではどうでしょうか。果たして飼育展示する目的で野生動物を自ら捕獲に出かけることがどれほどあるのでしょうか。もちろん処理しなければならぬ法的な手続きがあるとはいえ、けっして日常的ではありません。当然、仕事としてフィールドワークすることはめったにないでしょう。たしかに今は、野生動物の捕獲はその種の保護の為の最後の手段という時代で、動物の確保と納入はその道のプロが飼育に十分適した動物を法的に問題なく届けてくれます。さらに代々動物園生まれで動物園育ちのZOOアニマル化した動物は、野生捕獲したものとは比べるほど飼育上の問題は無いのです。でもプロとして野生動物の飼育技術を身につけ、さらに磨きをかけてという点では最も大切な、あるいは面白い、そして一番やりがいのあるチャンスをなくしているかもしれません。私達は相手がまだまだ未知の部分が多い野生動物

であることを忘れ、分かったつもりで飼育を続けることは可能なのです。動物達はもっている潜在能力のわずかしか発揮できず、ひたすら可愛い、可愛いと言われ続けるのです。いつまでたっても動物園は人間のための慰みの場所にしかありません。かつてのレクリエーションの場からそんなに離れていないのです。

ところがいつの間にか動物園、水族館の生き残り作戦のためか、「種の保存」ということが使命だと言われるようになりました。日本動物園水族館協会は種保存委員会をもうけ、毎年、会議を開催しています。しかし、この種の保存とは一体何なんでしょうか。希少動物を飼育下で繁殖させ、正しい血統を登録し、究極の目的として野生復帰させると言うことになりませんが、外国では幾つかの具体的な事例があるとはいえ、飼育繁殖させた動物を野生に戻すということは容易ではありませんし、動物園の努力だけで種の保存が実現される



京都・岩田山のニホンザル。野猿公苑は環境教育の場を提供。

ものでもありません。また、幾つかの希少動物では繁殖を制限しなければならない問題も生じてきています。ネコ目やワシ、タカ類のように生物ピラミッドの頂点に位置づけられ自分で捕食しないと生きていけない動物の場合、厳しい自然の中で生きて行けるほどの能力を飼育繁殖させたものに維持させることは捕獲能力が要求されるだけに、草食動物が植物を食する場合はように簡単にはいかないでしょう。さらに野生復帰できる捕食能力をつけることが技術的に解決されたとしても、復帰可能な環境が確保されなければなりません。この環境とは、自然環境のみをさしているわけではありません。つまり野生動物が野生で生きて行く術を開拓するということは適切な自然環境を確保することだけではなく、人間社会との摩擦をいかに解消するかという大きな問題を解決しなければならぬのです。

これは全くの夢物語ではないのですが、日本にオオカミを復活させようという話があります。動物園界は全くかかわってはいませんが、北海道の知床にシベリア系のオオカミを、対馬に中国系のオオカミを導入しようという研究があります。私達はこのことをどう理解すべきなのでしょう。一般市民、特に地域社会にどう理解させることが可能でしょうか。現実の



日本産動物研究会(仮称)の発足会議。

問題としてツキノワグマははたして守れるのでしょうか。ツキノワグマの保護に動物園がどれほど関わりあっているのでしょうか。希少動物にならなければ取り組まないというのでしょうか。むしろ、動物園も「種の保存」同様に「生態系の保全および人間と動物の共存のあり方の教育」により以上の投資とエネルギーを注ぐことが必要なのです。私達は10年程前、動物園の飼育係が集まって親睦を深め、技術交流を目的とする会を発足させました。初めは関西地方が中心でしたが、今では「全国飼育の集い」と称して全国の飼育係員が毎年各地で会合を持つまでになっています。私達はこの機会を通じ、多くの友人、先生を囲み自らを向上させる場にはしています。これ以外にも地域別あるいはテーマ別に研究会が幾つも発足しています。様々な学会等にも出席し、発表する姿も目立つようになりました。そして野外での動物観察やフィールドワークを行う人がずいぶん増えてきています。まだまだウォッチングの域を出ない人の方が多いかもしれませんが、それでもこれは大切なことです。

最近では学問的な経験を積んだフィールドワーカーと呼ばれる人が動物園に職を求めてきています。レベルの差があると思われかもしれませんが、いずれにしても原点を求めてそれを何等かの形で飼育技術の向上や展示に活かそうとする姿勢に新しい流れを感じます。

私も度々個人であるいは他園の人達とグループでフィールドワークを行います。自然の中を歩くことは楽しいし、常に新鮮な出会いがあり、学ぶことも無限にあります。でもときにはジレンマに陥ることがあります。やはり動物園は野生のままがいい。せめて、動物園でも野生と同じような環境で飼育できれば動物は生き生きとするだろう。こんな樹を植えたらか、こんな水辺があればなどと。

最近の動物園は随分と改善されてきました。それでも動物のことを全く知らないと思えないような動物舎が日本中にまだまだあります。私自身ももっともっと動物のことを代弁することができる知識があれば、また動物学のバックボーンがもっと強ければ違ったものができたかもしれないと思います。

こういった中で、今年の6月に日本産の動物について勉強する会が発足しました。飼育研究さらにフィールド調査まで幅広く勉強しようとする人々が全国から集まりました。今後も動物園という共通の場所を通じて目的を同じくする多くの仲間とともに動物を含めた自然を再認識し、動物園にもこれを出来るだけ取り入れようとする流れをたのしく思います。

(飼育課：大野尊信)

グラフZOO

糞は健康のバロメーター
フン概しないで!

です!



今月は色々な動物の糞の特集です。
すべて健康な糞です。
(撮影：村上 勇一)

ゾウ目ゾウ科 アジアゾウの



これは陸上動物最大のアジアゾウのフンです。
縦の大きさは約16~17cmぐらいです。
体同様糞もとても大きいですね。



フクロネズミ目コアラ科 ビクトリアコアラの



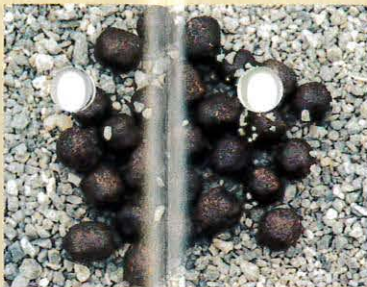
この糞はオーストラリア大陸にしか住んでおらず、しかもユーカリという種類の葉しか食べない動物コアラのものです。
1個の長さは約2cmほどの大きさです。



ウシ目キリン科 アミメキリンの



陸上動物で一番背の高いアミメキリンのものです。
1個の長さは約2cmほどです。
体に比べてとても小さなものです。



ネコ目イタチ科 テンの



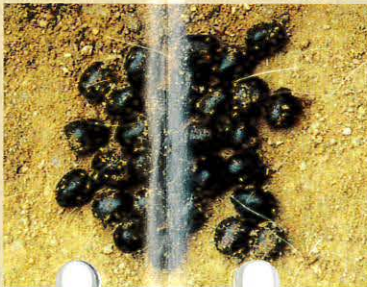
長さ3~5cmくらい。
野山を歩いているとき、このような糞を見つけたら、テンカイタチがいることを考えてもいいですね。



ウシ目ウシ科 ヤギの



家畜化された動物、ヤギの糞です。
長さは約1cmほどの大きさです。



ネコ目イヌ科 チュウゴクオオカミの



イヌに近いオオカミ。イヌのものにはなじみがありますね。



ウマ目ウマ科 グラントシマウマの



白と黒の縞模様のある動物、グラントシマウマのものです。
縦の長さ約5~6cmほどあります。



ネコ目ネコ科 ライオンの



食肉動物の代表ともいえるライオン。
その大きさはチュウゴクオオカミのものより大きめです。



ケンちゃんの女子きやねん動物園 マンガ 松葉 健

① ことしの春にできた爬虫類生態館をスリブりで訪ねました。

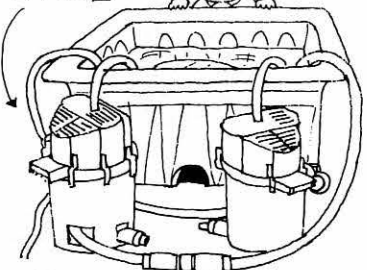


② 25キロぐらいはありそうなカメもレントゲン台に腹を上に乗せると、上に乗ると、じっとして動かなくなりました。お腹のあたりがへこんでいるのは食欲がなくてやせたからです。

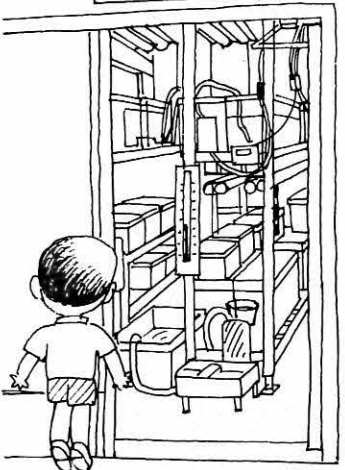


③ 治療がすんだ別の水槽に移してしばらく様子みるぞうです

浄水装置



④ さて、爬虫類生態館では展示される重カケ物のほか予備の重カケ物が4又容入れに入れたりして、リフレッシュしてやることです。



魚類也

⑥ いろいろな水槽にカエル、カメ、ヘビなどの爬虫類がいます。4又容室は展示室の楽屋みたいなところで、出番を待っているように見えました。



⑤ 下図は管理室です。コンピューターで爬虫類館内を管理して重カケ物の安全を守っています。



⑦ 展示室の裏側(バックヤード)は飼育係の人がのぞき窓からのぞいたりしながら重カケ物の世話をしている場所です。



⑧ 広い廊下の隅にふ卵器が上下2台置いてありました。温度差によってオスとメスが産み分けられるとのことでした。



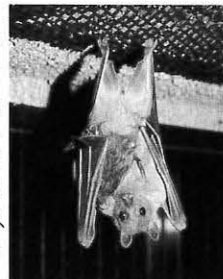
また元気な赤ちゃんがかわりますように……。

6月1日 ヒツジの毛刈りを行いました。これは人の衣がえの時期にちなんで毎年恒例になっている行事です。今年はお腹のあたりがへこんでいるのは食欲がなくてやせたからです。クロサイが交尾しました。



- 6/2. ニホンジカが1頭生まれました。
- 6/3. コジュケイ1羽とドバト2羽を保護しました。
- 6/6. ニホンカモシカの赤ちゃん1頭を保護しました。
- 6/8. 爬虫類生態館「アイファー」で飼育しているアオハリトカゲにダニが寄生していたので治療を始めました。
- 6/9. オシドリが1羽ふ化しました。
- 6/10. ゴイサギ、ツバメ、ハシブトガラスを各1羽保護しました。
- 6/11. オシドリが4羽ふ化しました。

6月12日 夜行性動物舎のエジプトルーセットコウモリを捕獲しました。これは健康診断と最近生まれた子の個体を識別するために、耳に入墨を行いました。



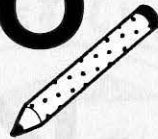
6月14日 第7回全国両生爬虫類担当者会議が当園で2日間の日程で開催されました。全国の動物園と水族館から約50名の方々が参加し、多くの研究成果の発表がありました。



- チンチラを1頭園内で保護しました。
- 6/15. カナダヅルが1羽ふ化しました。ファンボルトペンギンの体重測定を行いました。同時に個体識別用の翼帯の付け替えも行いました。
- 6/16. 4月18日に生まれたジャガーの赤ちゃんにワクチンを接種しました。オオサイチョウのオス1羽を千葉県で行川アイランドからフリーディングローンで借り受けました。検疫終了後、小鳥舎のメスと見合いさせ、同居する予定です。
- 6/17. スズメ、ドバト、ギジバト各1羽を保護しました。

今月もおもしろ情報満載

ZOO DIARY



- 6/18. 今季5頭目のニホンジカが生まれました。
- 6/20. 当園でふ化したタガメ13匹を広島市安佐動物公園に贈りました。

6月21日 4月18日に生まれたジャガーの赤ちゃんの一般公開を始めました。



- まだ歩き方は不安定ですが、母親にじゃれたり昼寝をしたりと可愛い姿がご覧いただけます。
- 6/23. “鳥の楽園”でヨーロッパホウケワタガモが人工ふ化しました。
- 6/25. 双子のトカラヤギが生まれました。
- 6/26. ヒツジ、ヤギ、トカラヤギの蹄が伸びていたので、削りました。
- 6/27. ハヤブサを1羽保護しました。ニホンツキノワグマが交尾しました。
- 6/29. ササゴイのヒナを1羽保護しました。
- 6/30. アカコンゴウインコが2個卵を産んでいるのを確認しました。

6月30日 社大阪市天王寺動物園協会の平成7年度総会が開催され、西尾会長の挨拶の後、各議案について審議され、原案通り満場一致で承認されました。



■お知らせ■
 ●動物園のおじさんのお話 8月20日(日)
 「夏休み動物なんでも相談」午後1時～
 訂正：7月号P2、目次の6-ZOOセミナーのアンケートからは、ZOOセミナーを開催しての間違いでした。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光／監修
B5変型判・オールカラー
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間とは？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

＜くらしかいかたシリーズ＜既刊本＞
B5変型判・オールカラー・各定価680円

むしくらしか いかた

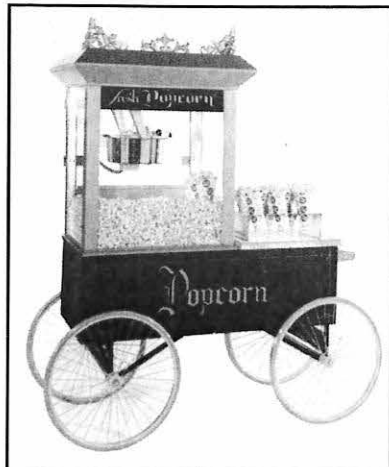
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしか いかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。

🏠 ぴかりのくに株式会社 本社／〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスタのポップコーン



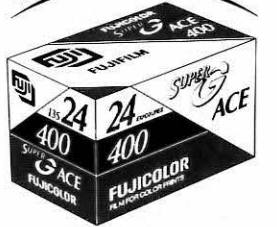
〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色

FUJICOLOR SUPER G ACE 400

新・きれいな色



カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

〈研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載〉

会費／年1,500円 (切手72円・呈既刊号目次)

動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象／保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間／10日間
- 貸出料／無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先／当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800 (50度用)

天王寺動物園の本

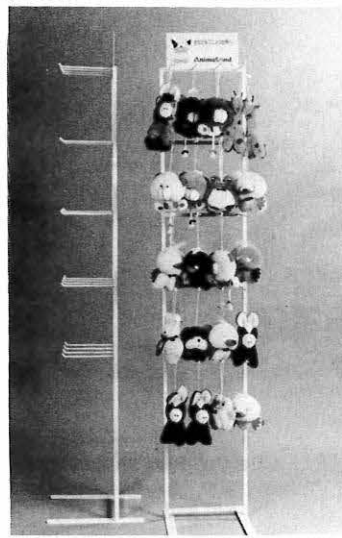
入園の記念・手引に……



オールカラー

500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

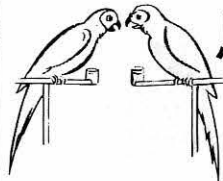


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

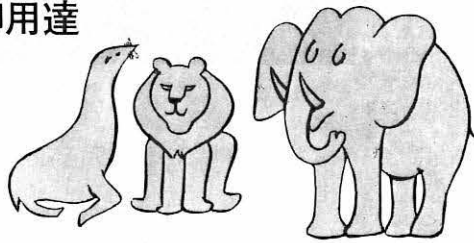
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

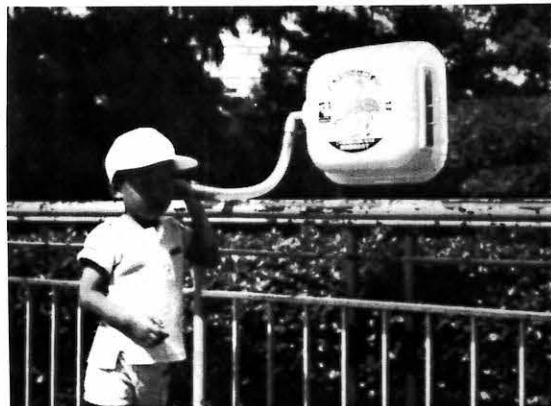


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話 (078) 221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での
お食事、
ご休憩は



動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



LOTTE



サクッとスリムなプレッツェルを、
こんがり焼上げたあとに
チョコをたっぷり入れました。
「トッポ」のおいしさの人気は、
ここがポイントです。



雪印 つぶよみ フルーツ ヨーグルト



●ライチミックス

●ストロベリー

●アップル

●ピーチ

●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパインアップル——●ライチミックス
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って——●ストロベリー
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の——●アップル
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で——●ピーチ
 アプリコット、メロン、アップル、パインアップル、ミカン。果物狂の——●フルーツミックス

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

一日
愉快地
たのしめる



なきごえ 1995年8月10日発行(毎月10日発行)第31巻 第8号(通巻360号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1

振替口座 00930-2-37823

編集委員

樽本 勲 / 馬詰好文 / 増野悦哉 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 長谷川敏昭 / 谷森 進 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榊原安昭 / 森本委利 / 高橋雅之 / 中上正幸 / 堀内智生 / 小林崇宏 / 竹田正人 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 土谷正道 / 村上勇一 / 仁田原洋